

山 旅

会報 No. 288
好山好山旅会
H. 30. 2



ニュージーランド マウントクック

平成30年3月例会山行計画

第一例会	3月15日(木)	
高尾	小仏川遊歩道	担当者 板橋
第二例会	3月24日(土)	
秩父	四阿屋山	担当者 木村
第三例会	3月31日(土)	
丹沢	ミツバ岳	担当者 板橋

《 新年山行 日向薬師～飯山観音 》

1月第一例会

1月7日（日）晴れ

参加者 白井（L）、吉田、鈴木、池田、木村、板橋、宮崎、中原 計8名

—白井 記—

快晴無風の中、今年最初の会山行。日向薬師バス停から先ずは最初の目的である日向薬師に向けてと歩き始めてすぐに道端にミカンの無人売店があった。今シーズンはミカンが全国的に不作で例年の倍近い値段であるが、何と1袋100円で並べられていた。数人が「荷物が重くなる」と言いつつ買い求めた。

日向薬師へは一般の参拝客が登る石段のコースが有るが、我々は山道を登り裏手から本堂に着いた。本堂は2年前に修復が終わったばかりで茅葺屋根が真新しかった。今年の登山の安全を願って一同お参りした後、駐車場の脇から日向山へ登り始める。

緩やかなトラバース道をゆっくり進むと20分程で梅ノ木尾根と日向山分岐点に着く。ここから急な木階段を上り、次第に緩やかになった先に日向山の頂上だが展望は良くない。少し休憩して山神の祠のある鞍部まで下ると右が七沢温泉への近道の亀石（亀石は亀の形の巨大な石）の標識が有ったが我々は真直ぐ見城山に向かった。

ここから尾根が細く急な登りとなり視界が開けた所が見城山でかなり遠くまで見渡す事が出来る。七沢温泉に下り舗装路と集落の間を抜けて順礼峠に向かう。この間かなり複雑な経路だが分りやすい道標が整備されているので迷う事は無い。

順礼峠で昼食をとり物見峠の手前から延々と続く木段、さらに白山頂上前の急登。白山の頂上には展望台が有り287mの標高だが眺めが素晴らしい。此处からの下山路は男坂と女坂が有るが女坂で下山した。飯山観音バス停には次のバスの到着時刻の5分前に到着。

200～400mの低山歩きと高を括っていたが、予想外に歩き応えが有り新年早々十分なトレーニングとなった。かつて「ハマの番長」がこの山域で自主トレをしたというのも聞いた。

☆コースタイム 日向薬師バス停 9:20～日向薬師 9:45～日向山 10:20～見城山 10:45～七沢温泉入口 11:25～12:00 順礼峠 12:30～物見峠 13:20～白山 3:50～飯山観音（長谷寺） 14:15～飯山観音前バス停 14:40

☆費用 鉄道（小田急線）；新宿→伊勢原 590円、本厚木→新宿 500円
バス（神奈川中央）；伊勢原駅北口→日向薬師 280円、
飯山観音前→本厚木 340円

《 房総 津森山～人骨山 》

1月第二例会

1月13日(土) 晴れ

参加者 木村(L)、吉田、池田、瀬川、板橋、中原、久保田、中村(謡)、荒井(体験山行)
計9名

—木村 記—

保田駅に着いた特急電車から大勢の登山客が降り立ち、小型のコミュニティバスは満員になったが、小保田のバス停でほとんどの客が降りた。大崩水仙郷の売店から大崩バス停に続く車道の両脇に満開の水仙が咲き誇っていた。

初参加の中村さんと体験山行の荒井さんが参加されたことから、全員自己紹介をしてから歩き出した。水仙を愛でながら車道を歩いていくと牛舎の廃屋があり、そこに津森山登山口の大きな道標が立っている。そこを左折して道なりに歩いていく。ところどころに小さな道標があるのだが、最初の下見の時はその道標を見落とし、正面に見える尾根に取り付いてしまい、体力を消耗した。林道の傾斜が急になったところで最初の休憩をとった。林道をさらに進むと牛舎があり、この家の軒先を突っ切るとすぐに登山口がある。カヤトの道を登っていくとほどなく津森山の山頂に着いた。

津森山の山頂から、南東方面に千葉県最高峰で自衛隊のレーダーがある愛宕山、南西方面に南総里見八犬伝の伝説の跡が残る富山と千葉県では珍しく岩場が楽しめる伊予ヶ岳、北面にサルの生息地で有名な高岩山とマザー牧場のある鹿野山が見える。山頂には大きな石碑が三つ立っていて中央の石碑には木花開耶姫命と書いてある。山頂から数十メートル西に展望台があり、鋸山の奥に富士山も見えた。昼食後山頂を辞し、元の道を車道まで戻る。鴨川方面には棚田が広がり、大山千枚田もすぐ近くにある。棚田につながる谷いっばいに咲く水仙の群生にメンバーの歓声があがった。

鴨川との分岐を右折してしばらく歩くと人骨山の道標があり、ここが登山口だ。人骨山の山頂直下は急坂になっていて太いロープが設置されている。山頂からは360度の展望が得られ、南面に伊予ヶ岳と富山が間近に見え、北面に津森山が見える。人骨山の名前の由来には諸説あり、姥捨て山という説、村の若い娘を鬼に差し出したことからこの村では節分に豆まきをしないという説があるが、有力説はかつて狼煙台があったことから火灯しが「ひとぼね」になまったという説である。

下山はいったん元の道を下り、人骨山の小さな道標がある分岐を右折する。しばらく平坦な道が続くが、最後は急坂で滑りやすく慎重に降りた。湿地に降り立ってしばらく歩いて車道に出た後、佐久間ダム湖まで車道をのんびりと歩いた。ダム湖の周辺にもたくさんの水仙が群生していて、観光客で賑わっていた。トイレ休憩後、大崩バス停に戻った。

このコースは、佐久間ダム湖が頼朝桜で彩られる頃に訪れるのも楽しいかもしれない。

☆コースタイム 大崩バス停 10:12～分岐 10:37～11:08 津森山 11:42～分岐 12:00～12:20 人骨山
12:30～車道出合 12:57～13:30 佐久間ダム湖 13:45～大崩水仙郷 14:00～
大崩バス停 14:15

☆費用 電車代 東京→保田 1,944円×2 バス代 保田→大崩 300円×2

《 栃木 一床山～三床山 》

1月第三例会

1月20日(土) 晴れ

参加者 土方(L)、原田、鈴木、早川、池田、瀬川、小淵、久保田 計8名

—土方 記—

朝9時30分に JR 小山駅に集合し、9人乗りのレンタカーで田沼町中妻にある登山口まで約1時間20分のドライブだったが、途中で登山口の入り口がわからず、15分ほど時間をロスしてしまった。

登山口から神社の脇にある道を進み、途中で沢コースとの分岐を過ぎて尾根コースを登る。道は緩やかだったが15分ほどで急坂となり、三床山の分岐尾根に到着するまでひと汗かいてしまった。分岐から三床山までは5分程度であった。三床山からの尾根道は展望もよく気持ちの良いハイキングコースであった。途中、二床山手前の分岐を小三床山まで足を延ばしてみたが、往復で10分程度であった。分岐まで戻り二床山を目指す。岩場の尾根で展望もよい。

二床山から一床山までは、岩場の気持ちの良い尾根歩きで、ひと登りしたところが今回の山で一番展望が良い一床山山頂である。日光方面の山がよく見えたが、山頂は狭く大勢で長居はできない。山頂から登山口への戻りは、尾根道をしばらく歩き森の中を一気に下ればすぐに登山口へ到着した。

今回の山は標高400メートルにも満たない小さな山ですが、岩場と展望が続き、初心者以外でも満足できる山でした。

☆コースタイム 登山口 10:50～三床山 11:40～分岐 12:10～小三床山 12:15～二床山 13:05～一床山 13:30～登山口 14:20

☆費用 レンタカー代と燃料代で12,000円

《 役員会のお知らせ 》

以下のとおり役員会を開催しますので、役員の方は出席をお願いします。

日時： 平成30年3月3日 土曜日 14時00分から(事務局は13:30集合)

場所： としま産業振興プラザ(IKE-Biz) 第2会議室 (旧豊島区勤労福祉会館)

議題： ①総会に提案する山行計画案作成について

②その他

メンバー：会務の担当係、リーダー、参与

★2月第四例会の茨城 生瀬富士は、一部アイスパーンの所がありレンタカーの返却時間までに戻れない可能性があるため、中止となりました。

山旅 No.288 平成30年2月1日発行 発行者 白井 裕 編集者 木村 成雄
発行所 埼玉県所沢市寿町 23-2 グレーシアタワーズ所沢 T-2005 白井方 好山好山旅会
WebSite <http://kozanko.com/>